

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



## 幸せのまちづくりに向けて

幸せのまちづくりフォーラムとふくつSDGs賞表彰式



▲第1回SDGs賞を受賞した7団体の皆さん。各団体の取り組み内容は市ホームページでも紹介しています



▲SDGsと幸せのまちづくりの関係を語る前野さん



▲表彰式では原崎市長から受賞団体に賞状が贈られました



▲SDGs賞受賞団体の取り組みを講評する石丸さん

2月3日、市役所で「幸せのまちづくりフォーラム&第1回ふくつSDGs賞表彰式」を開催しました。  
フォーラムでは、慶應義塾大学大学院教授の前野隆司さんを招き、幸せと感じる仕組みの講演がありました。前野さんは「幸せは『やってみよう』『ありがとう』『なんとかなる』『ありのままに』の4つの因子があり、それらを互いに高めることで幸せを感じやすくなる」と語りました。  
ふくつSDGs賞表彰式では、SDGsの推進で優れた取り組みを行う7団体を表彰しました。表彰団体は、津屋崎小学校、福岡小学校5年生、福岡中学校、唐津街道睦町宿保存会、福津市まちづくり研究会、くらしのサポートセンターサンクス、ふくつ大峰山森づくりプロジェクトでした。表彰式の結びではSDGs賞の選考委員を務めた福岡教育大学教授の石丸哲史さんから、受賞団体へ今後の活動に向けたエールが送られました。

## 食を通じた健康づくりを15年

市食生活改善推進会15周年発表会



▲報告会では体に良い料理が振る舞われました

食生活改善推進会では「自分たちの健康は自分たちの手で」を合言葉に体に良い食生活と健康づくりを推進しています。1月25日、会の15年にわたる取り組みの発表会がふくとびあで行われました。当日は、活動発表や、活動に貢献した会員の表彰の他、会の活動に協力してくれた人たちへ料理が振る舞われました。表彰を受けた井口正生さんは「会に参加して自分で料理を作れるようになり、健康に暮らしている」と語りました。

## 新年の伝統行事

第46回九州地区大学合同寒中水泳大会



▲寒空の中、海に向かう大学生たち

九州の5大学による伝統の寒中水泳大会が1月18日、津屋崎海水浴場で行われました。今年は82人が海に入り、新成人を胸上げるなどして祝福海から上がった後は、地域の人たちが準備した豚汁で温まりました。九州大学水泳部主将で成人を迎えた富崎脩さんは「多くの人たちから祝福してもらってうれしかった」と話してくれました。

## 学校・家庭・地域の取り組みを発表

FUKUTSUコミュニティ・フェスタを開催



▲劇で取り組みを紹介した神興小学校児童

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核にした地域づくり」の双方で推進するコミュニティ・スクールのことを皆さんに知ってもらおうイベントを1月26日、市中央公民館で開催しました。市内各小中学校や子ども会などが参加し、地域の人たちとの交流や取り組みを、子どもたちが劇などで発表しました。  
また、登下校時の見守りに長年協力いただいた人や、スポーツなどで活躍した児童や生徒の表彰も行いました。

## 昔遊びで真剣勝負

新春レクリエーション大会を開催



▲真剣なまなざしでかるたをする子どもたち

市子ども会育成会連合会による新春レクリエーション大会が1月19日、カメリアホールで行われました。市内の子ども会に所属する子どもたちが、低学年と高学年に分かれて、かるたと将棋でそれぞれ順位を競いました。会場では笑いあり、涙ありの勝負が繰り広げられ、子どもたちは昔ながらの遊びを通して交流を深めていました。